

2024年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
理科	科学と人間生活	2	科人705	第一学習社	高等学校 科学と人間生活

目標 【学習指導要領】	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	・日常生活に関わりのある科学技術を積極的に紹介することで科学に対する興味関心を高め、主体的な学習態度を育成する。 ・実例動画の視聴や実験により、単なる知識の暗記ではなく、科学的な見方や考え方、探究心を養う。
評価の観点	【知識・技能】自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わり、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な知識・技能について、レポート各回の学習内容・成果、単位認定試験の成果にもとづき評価する。 【思考・判断・表現】人間生活と関連付けて科学的に探究する上での思考力・判断力・表現力を、レポート各回の学習内容・成果、単位認定試験の成果にもとづき評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】自然の事物・現象及び科学技術と人間生活との関わりについて、積極的・科学的に探究しようとする態度を、レポート各回の学習内容・成果、面接指導時の学習取り組み・成果、放送視聴状況にもとづき評価する。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	序章 科学技術の発展	情報伝達技術・エネルギー資源活用・交通手段・医療技術などの科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。	第1回	スクーリング 6～7月 (10～11月)	エネルギー資源活用および交通手段の発展についての講義	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	5月 (10月)	第Ⅰ章 物質の科学 第2節 衣料と食品	身近な繊維の分類とその製法、食品中の主要栄養素について理解を深める。	第2回	5月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月 (10月)	第Ⅱ章 生命の科学 第2節 微生物とその利用	微生物の働きを、食品や医療など人間生活と関連付けて幅広く理解する。	第3回	5月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
					スクーリング 6～7月 (10～11月)	食品への発酵の応用例についての観察、実験、講義	1	行動観察 課題プリント
	6月 (11月)	第Ⅲ章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用	熱の性質、エネルギーの変換や有効利用について、日常生活に関連付けて理解を深める。	第4回	6月 (11月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
					スクーリング 6～7月 (10～11月)	熱運動、熱伝導、エネルギー変換についての観察、実験、講義	1	行動観察 課題プリント
	6月 (11月)	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然災害	地震活動や火山活動を、身近な自然景観の成り立ちと自然災害に関連付けて、理解を深める。	第5回	スクーリング 6～7月 (10～11月)	地震活動や火山活動による地表の変化についての講義	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント
	7月 (12月)	第Ⅴ章 これからの科学と人間生活	課題の設定と研究・発表の進め方について理解を深め、これからの科学と、人間生活との関わり方について認識を深める。	第6回	7月 (12月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	9月 (2月)	単位認定試験						考査
					面接指導(単位時間) 合計			4